

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026 年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) サブトラックは、トラック競技、跳躍競技、砲丸投の練習のみに利用する。
- (2) 棒高跳の練習は本競技場で行う。
- (3) 円盤投、ハンマー投の練習は、競技日の球技場のみとし、競技役員の指示に従い、監督者をつけ安全に注意して行う。

3 招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点の器具庫付近に設ける。但し、棒高跳の招集は現地とする。
- (2) 各種目の招集完了時刻は、以下の通りとする。

全てのトラック競技	1～4組	競技開始15分前
	5～8組	競技開始 5分前
	9～10組	競技開始 5分後
4×100mR	1組	競技開始20分前
	2組	競技開始15分前
	3組	競技開始10分前
フィールド競技	全種目	競技開始40分前

- (3) 招集の方法については次の通りである。

- ① 招集開始時刻（招集完了時刻10分前）から招集所にて競技者係の点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・商標の点検を受ける。トラック競技のみレーンナンバーカードを受け取る。
- ② 招集は必ず本人が行うこと。但し、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「多種目同時出場届出用紙」を招集所に提出し、指示に従うこと。
- ③ 全ての競技種目において、棄権する場合は招集所に棄権届を提出する。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。

4 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝のレーン順は、番組編成板に掲示する。
- (3) 決勝に進む選手をタイムで決定する場合、最後の1枠に同成績がいる場合は0.001秒の実時間を考慮する。それでも同成績の場合は抽選を行う。

5 競技について

(1) トラック競技について

①短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走る。

(2) フィールド競技について

①競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

②砲丸投を除く投てき競技の計測は、すべて光波測定器を使用する。

③携帯電話等、競技規則 TR6.3 に関わる機器は競技区域内で所持または使用することはできない。ただし TR6.4 にあたるものを除く。

④各フィールド競技種目の競技開始後は、原則としてその競技場所を変更しない。ただし、棒高跳については天候により審判長が危険と判断した場合は競技場所の変更や競技日の延期をする場合がある。

⑤フィールド種目のトップ8試技は行う。ただし、試技数（トップ8選出、トップ8）については当日の状況に応じて判断する。

⑥走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝者が決まるまで次の通りとする。ただし、当日の気象状況により変更する場合がある。

種目	練習	1	2	3	4	…	—	以降の上げ方
男子 走高跳	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	…	1m95	1m95 以降は優勝者が決まるまで3cmずつ上げる。
女子 走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	…	1m55	1m55 以降は優勝者が決まるまで3cmずつ上げる。
男子 棒高跳	2m40	2m50	2m70	2m90	3m10	…	3m50	3m50 以降は優勝者が決まるまで10cmずつ上げる。
女子 棒高跳	2m00	2m00	2m20	2m30	2m40	…	2m50	2m50 以降も優勝者が決まるまで10cmずつ上げる。

6 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

(2) ハードルの高さインターバルは、次の通りである。

男子		成年種別	少年種別
110mH	高さ	1.067m	0.991m
	インターバル	9.14m	9.14m
300mH	高さ	—	0.914m
	台数	—	7台
400mH	高さ	0.914m	—
女子		成年種別	少年種別
100mH	高さ	0.838m	0.838m
	インターバル	8.50m	8.50m
300mH	高さ	—	0.762m
	台数	—	7台
400mH	高さ	0.762m	—

(3) 投てき物の重量は、次の通りである。

	成年男子	少年男子 A	少年男子 B	成年女子	少年女子共通
砲丸	7. 26 kg	—	5. 00 kg	4. 00 kg	—
円盤	2. 00 kg	1. 75 kg	—	—	—
ハンマー	—	6. 00 kg	—	4. 00 kg	—
やり	800 g	800 g	—	600 g	600 g

7 抗議・上訴について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為・順位に関する抗議は、競技規則 TR8. により、結果の正式発表後、30分以内に、また次のラウンドが行われる種目については15分以内に、本人又は監督から 審判長に対して口頭で申し出る。受付は大会本部とする。
- (2) ジュリーに上訴する場合は、30分以内（次のラウンドが行われる種目については15分以内に、担当総務員を通して、上訴審判員に預託金20, 000円を添えて文書で申告する。この預託金は、抗議が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は、担当総務員が準備する。

8 競技用靴について

TR 5. および競技用靴に関する規定に則る。※サークルを使う投擲種目を除く

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。その他、競技場管理者によって認められないものは使用できない。

9 一般的注意事項

- (1) リレーオーダー用紙は招集所にて配布し、招集所を提出場所とする。予選、決勝とも招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
- (2) 投擲練習場を使用の際は必ず監督者をつけ安全を確認すること。終了後は整備すること。
- (3) 商標の大きさについては、競技規則「競技会における広告及び展示物に関する規程」を適用する。
- (4) 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・傷害に対しての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (5) 横断幕等は、スタンドの最上部のみ掲出を認める。のぼり旗等も同様とする。スタンドにテントを張ったり、シートなどを敷いて場所を取ったりすることは禁止する。
- (6) 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。拾得物については、TICにて保管する。
- (7) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (8) TR7.1により競技会から除外となった場合は、その種目で失格となる。この失格により、その競技会における以後の全ての種目やラウンドから除外される※TR7.3
- (9) その他必要事項は主催者が協議、判断し決定する。
- (10) オープン参加の選手については、予選ラウンドのみの出場とする。